



茎枯病や斑点病が多発する時期には  
必要不可欠。いまだにアミスター20に代わる  
薬剤はないね。

福島県喜多方市 鵜川 良一さん(63歳)

※写真(左)JA会津いいでの十二村さんと(右)鵜川さん



福島県の会津地方は、昭和36年からホワイトアスパラガスの栽培が始まった歴史ある産地。地域を管轄する「JA会津いいで」のアスパラガス部会員は520名にのぼり、**鵜川さん**は副部会長を務められています。現在、グリーンアスパラガスをはじめ、ホワイトアスパラガス、パープルアスパラガスを、ハウス60a・露地46aの割合で栽培。「露地栽培は病害との戦い」と語るように長年にわたり病害防除に悩まされていた鵜川さんは、7年前にアミスター20フロアブル(以下、アミスター20)を試験的に使用されました。

「ずっと手を焼いていた**斑点病に対して予防効果をはっきりと実感**することができた。あんなに効いた薬剤は他になかったから驚いたね」。それ以降、JA会津いいででは防除暦にアミスター20を採用。鵜川さんも**6月上旬から10月上旬にかけて病気が多発する時期に計4回、それぞれ10aあたり300Lの散布**を欠かしません。「この地域で、アミスター20を使ってないアスパラガス農家なんていないよ。いまだにこの薬剤に代わるものはないからね」。

ここ数年はゲリラ豪雨の影響からか、茎枯病が以前にも増して猛威を振るい、また、従来は見られなかった褐斑病なども出るようになったとのこと。かつて経験したことのない状況に散布時期を誤り、手痛い被害に遭ったこともあるのだとか。「一昨年は茎枯病が大発生してしまい、うちでもちょっと農薬の散布が遅れた圃場は10a分まるごと収穫できない有り様だった。つくづく散布時期の重要性を痛感したよ」。

鵜川さんの言葉を受けて、JA会津いいでの営農指導員である十二村さんはこのように語ります。「アスパラガスの産地として安定した収量を確保するためにも、今後もそれぞれの病気に応じた適期散布を指導していきたいと考えています。**アミスター20にはこれからも体系防除の中核を担う薬剤として、大いに期待しています**」。

 **アミスター<sup>®</sup>20**  
フロアブル

syngenta.

シンジェンタ ジャパン株式会社

〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワーX 21階  
<http://www.syngenta.co.jp>

農業をご使用の際は、ご購入先、または当社ウェブサイトなどで最新の登録内容をご確認ください。

®はシンジェンタ社の登録商標 TMはシンジェンタ社の商標

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●薬剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器、空袋等は圃場などに放置せず適切に処理してください。;

※2011年11月7日現在の情報です。